

## 今日の道徳科の時間

2年

正直な心で

教材「すてきなえがお」

### この教材は

主人公の「わたし」はバスの中で、隣に立つおばさんの足を踏んでしまいました。黙っておこうかと悩みましたが、謝ると、おばさんは、素敵な笑顔になりました。この出来事を大人になっても覚えているという話から、勇気を出して正直に謝ろうとする主人公の気持ちを通して、正直でいることの良さについて考えさせる教材です。

### 育てたい子どもの心



ごまかしたり、うそをついたりして、自分を守りたいけど、正直にしたほうが、心がすっきりするな。



正直でいることが、相手にも自分にも気持ちのよい、すがすがしさにつながるんだな。

### 子どもの心を育てるために

- 自分の過ちを認め、正直に謝る勇気や、本当はごまかしたいと思ってしまう弱さ、その弱さを乗り越える人としての強さなど、話し合いを通して多様な考えに気付かせます。
- 役割演技を通して、正直に謝る人や謝ってもらった人の気持ちを登場人物の気持ちになりきって、考えさせます。
- ワークシートに考えを書くことによって、より深く考えさせます。

### 学習の流れ

- ① 謝ることができなかった経験について出し合い、価値項目について考える。
- ② 教材文を読んで、「わたし」の心の動きについて考える。
- ③ 自分の考えを伝えたり、友達の考えを聞いたりする。
- ④ 自分の過ちを認め、正直になることのよさについて、考える。

## 道徳地区公開講座週間 2年生

正直な心で  
教材 「すてきなえがお」

ごまかさないで、正直でいることの  
よさについて、考えました。



知らない相手でも、迷惑をかけたら、きちんと謝ろうと思う。わざとでなくても、正直に謝る方が、後でホッとすると思う。



「悪いことをしてしまったら、相手が誰でもしっかりと謝る。」  
「正直に謝ることが大切だと思った。」  
「一回深呼吸をして落ち着いて謝る。」



「正直な気持ちのほうがスッキリするし、相手も気持ちよくなる。」  
「正直の方が自分に自信がもてる。」  
「謝ると、スッキリするし、解決できる。」